



2017年度の環境目標進捗状況

本年度の環境活動も、残り一ヶ月となりました。現時点で、5項目すべての目標が達成出来ています。特に電気使用量は、新館1階のLED照明化や、本社本館の空調設備入替などが功を奏し、プラス15%で推移しています。本年度の達成は問題ないと思われます。エコキャップ回収も順調で、11ヶ月で約1万個と目標を大きくクリアしています。美化活動や支援活動も皆さんのご協力で、既に本年実施分は、すべて終了し、達成しています。一般廃棄物だけが最後まで、達成できるか、ギリギリの状態ですが、いつものように、分別など徹底していただければ達成できる水準です。最後まで、ご協力お願いします。

こみっとフェスティバルに参加しました

2月17日、イオンモール水戸内原の中の施設を利用して、水戸市内で活動する、ボランティア団体が集結し、活動を理解していただくためのイベントが開催され、私達も参加しました。今回で6回目ということもあり、運営もスムーズで、来場される方々も、イベントの内容を理解されているためか、問題なく進行出来ました。私達は今回も環境のクイズを出して回答していただき、解説の中で、環境に関する情報を提供する方法で実施しました。特に、千波湖が重要湿地に選ばれていることを強調して問いかけました。重要湿地の意味が、まだまだ浸透していないと実感しましたが、あきらめずに、これからも続けて行こうと考えています。

水戸市環境フォーラム開催しました

3月3日水戸市総合教育研究所で、本年度の水戸市環境フォーラムを開催しました。従来のフォーラムは、水戸市との共催で行なってきたが、今回は、世界湖沼会議が実施されることもあり、茨城県環境政策課や湖沼会議準備室、生物多様性センターなど多くの団体から支援をいただき、盛大に開催することが出来ました。会議のテーマが持続可能な生態系サービスを目指してと言った内容から、市民がどのように受けとめるべきが議論しました。水戸市民が、千波湖からたくさんの恩恵を受けていることは、確実だと思います。美しい風景から精神的に癒される部分、豊かな生きものを育む生態系からの恵、もう一度考え直す必要を感じました。

方 針

青柳工業株式会社は電子応用機器の設計・製造からサービスに係わる全ての活動、製品及びサービスの、環境影響を改善するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護を図ります。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を遵守します。
4. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 電気使用量の削減
 - (2) 一般ごみ廃棄量の削減
 - (3) エコキャップ回収推進
 - (4) 美化活動の実施
 - (5) 地域環境活動に参画



最高責任者(社長)のコメント ～ 電気使用量削減目標 ～



社内の電気使用量削減は、節電能力の高い空調機器に交換されたことなどで、15%程度の削減が達成できている。社内は良い状況だが、東京電力管内は電気需要の増加により、電力供給が厳しい情勢が続いている。社内のことだけでなく、地域全体を考え、今まで通り小まめな消灯や不要設備電源スイッチオフ、空調機器の温度設定など、節電を継続するよう願う。

今月の環境用語 「世界湖沼会議」



2018年つくば市をメインに「世界湖沼会議」が開催されます。湖沼会議は、大きな湖などを管理する、世界中の自治体が集結して、湖沼の維持管理方法を話し合う国際会議です。日本では琵琶湖を有する滋賀県と霞ヶ浦を有する茨城県で開催され、今回17回目を迎えます。水戸はサテライト会場として、様々なイベントが開催される予定です。こうした活動を通して、湖沼保全の重要性を学んで行きましょう。

今月の環境目標進捗状況

	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量削減	26,514kwh	22,199kwh	達成	222,742kwh	194,055kwh	115%	↑
一般ごみ削減	63袋	62袋	達成	705袋	696袋	101%	↑
エコキャップ回収	842個	858個	達成	9,389個	9,920個	106%	↑
美化活動実行	—	—	—	2回	2回	100%	↑
地域環境活動	1回	1回	—	2回	2回	100%	↑

2月現在、5項目の目標
すべて達成しています。

